

3月2日(土)

令和6年度 B日程入学試験問題
文学部 (史学科)

地理歴史

— 注意事項 —

- 1 問題は1ページから9ページ、解答用紙は1枚である。
- 2 **1**～**5**のうち1題を選んで解答すること。
- 3 解答はすべて解答用紙に記述すること。解答用紙に受験番号と氏名を記入し、選択した問題番号を必ず○印で囲むこと。
- 4 試験時間は60分である。

日 本 史

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(150点)

巨大城下町江戸は、武家地・寺社地・町人地などからなる日本最大の消費都市であった。その中心である江戸城は1457年に扇谷上杉家の家宰であった によって築城され、戦国時代には北条氏の支城であった。

は江戸に幕府を開くと、諸大名を動員して江戸城とその周辺街区の大規模な造成やインフラ整備をおこなった。しかし、1657年の によって市街は甚大な被害を受け、江戸城の天守閣も失われた。これに対し、幕府は防火帯としての火除地の設定や大名屋敷の移転などを進め、大規模な都市改造に乗り出した。その結果、江戸の範囲は大きく拡張され、大坂に並ぶ全国の物流の拠点となり、さまざまな問屋商人が生み出された。幕府はこうした問屋商人に (A) 株仲間の結成を出願させて公認した。

18世紀に入ると、江戸の町は飛躍的な発展を遂げつつも大きな矛盾を抱え込むことになった。その一つが膨大な数に及ぶ下層民の存在である。わずかな収入で生活を営む下層民は米価・物価の高騰や火災・水害などの被害の影響を受けやすかった。(B) このため、幕府は下層民を救済するための政策をうち出さなければならなかった。

一方、文化・文政期には町人文化が最盛期を迎え、芝居小屋や寄席がにぎわった。しかし、天保期には老中 による風俗取締りによって芝居小屋は浅草に移転させられ、人情本作家 にも処罰された。

明治維新に際し、江戸城は と東征大総督府参謀の西郷隆盛の交渉により無血開城された。そして江戸は東京と改められ東京府が開設された。

問1 空欄 ～ に入るのに最もふさわしい語句・人名を、解答欄(1)～(6)にそれぞれ漢字で記しなさい。

問2 下線部(A)の内容について、80字以内で説明しなさい。

問3 下線部（B）について、次の語句をすべて用いて400字以内で説明しなさい。なお、語句はどの順番で何度用いても構わないが、それぞれ最初に使用したところには、必ず下線を施しなさい。（例：802年に胆沢城が築かれた。）

人足寄場	旧里帰農令	江戸町会所	七分積金	打ちこわし
勘定所御用達	無宿人	松平定信	石川島	長谷川平蔵

日 本 史

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(150点)

日本の歴史にも、対外関係から国家の存亡が脅かされる、あるいはそうした事態への対応を深刻に模索した、いくつかの事例が見られる。

663年に白村江の戦いに大敗すると、その翌年には対馬・壱岐・筑紫に防人と とがおかれた。また、九州の要地を守る水城や、対馬から大和にかけて古代朝鮮式山城が築かれた。

1274年・1281年の2回にわたる蒙古襲来をしりぞけた大きな理由は、幕府の統制のもとに、おもに 地方の武士がよく戦ったことにあった。

全国統一を完成した豊臣秀吉が1596年、長崎で宣教師・信者26名を捕らえて処刑した背景には、同年土佐に漂着したスペイン船 号の乗組員がスペインは領土拡張に宣教師を利用していると証言したことがあった。

それから約200年後、老中に就任した松平定信は国内外の危機がせまるのを痛感して、江戸の治安問題を解決し、ロシアを中心とする外国勢力に対処するため、寛政の改革と総称される諸施策を実施した。定信の老中辞任から約10年後の1804年、ロシア使節 の対日通商要求を幕府に拒絶されたことから、ロシア船が樺太や択捉島を攻撃した。異国との銃撃戦に大きな衝撃をうけた幕府は、松前奉行のもとに松前藩と蝦夷地を直轄することとした。

(A) 1863年の薩英戦争と、1864年の四国艦隊下関砲撃事件とは、イギリス公使パークスと薩摩藩・長州藩とが接近する転機でもあったが、他方、フランス公使 は、幕府支持の立場をとり財政的・軍事的援助を続けた。その後の1年半近くにわたる戊辰戦争には、英仏戦争の代理戦争という側面もあった。

(B) 明治国家の最大課題は、国家・民族としての独立確保にあったが、日露戦争開始から40年後のロシア革命記念日に、日ソ 条約の締約国ソ連のスターリンがおこなった演説のなかで「日本は侵略国である」と指摘される事態となり、翌1945年8月、ソ連は日ソ 条約を無視して対日宣戦布告をおこない、日本はポツダム宣言を受諾して連合国に降伏し、歴史上はじめて外国に占領されることとなった。

問1 空欄 ～ に入るのに最もふさわしい語句・人名を、解答欄(1)～(6)にそれぞれ記しなさい。

問2 下線部（A）に関して、当時のイギリス公使の意図、薩摩藩・長州藩それぞれの政策転換について、80字以内で説明しなさい。

問3 下線部（B）に関して、明治政府は近代化の指標となるさまざまなしくみを20年ほどで備えるにいたったが、その概要について、次の語句すべてを使用して400字以内で説明しなさい。なお、語句はどの順番で何度使用しても構わないが、それぞれ最初に使用したところには、必ず下線を施しなさい。（例：日露戦争の講和会議はアメリカのポーツマスでおこなわれた。）

ヨーロッパ列強	富国強兵	殖産興業	公議世論	岩倉使節団
不平等条約改正	議会	欽定憲法	生糸	国民皆兵

世界史

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(150点)

10世紀初頭、節度使の によって唐が滅ぼされると、中国の華北地方では、地方に割拠していた節度使が次々と独立した。 が建てた後梁が山西方面のトルコ系民族によって倒されると、その後、後唐・後晋・後漢とトルコ系の王朝が続き、次の漢族出身の まで五王朝が交替した。また、華中・華南でも国家が次々と興亡を繰り返したので、この時代を と呼んでいる。この 時代は、 出身の武将である が宋（北宋）を建国し、全国を統一するまで続いた。

唐の滅亡後、モンゴル高原東部でも大きな動きが起こった。916年、契丹（キタイ）が によって統一された。契丹は、926年に渤海を滅ぼすと、中国本土にも南下し、後晋の建国を援助した代償として、936年に を割譲させた。その後、947年には、国号を中国風に遼と定めた。遼は、宋の成立後も華北への侵入を繰り返し、(A) 宋との間に和議を結んだ。宋は、遼の攻勢を撃退できず、 の奪回にも失敗したものの、(B) 内政面では大きな改革をおこない、その後の中国王朝の基礎となるような体制をつくりあげた。

問1 空欄 ～ に入るのに最もふさわしい語句・人名を、解答欄(1)～(6)にそれぞれ記しなさい。

問2 下線部(A)について、この和議の名称とその内容に関し、80字以内で説明しなさい。

問3 下線部(B)に関連して、宋（北宋）が滅亡するまでの政治的展開を、次の語句をすべて用いて400字以内で説明しなさい。なお、語句は、どの順番で何度使用しても構わないが、それぞれ最初に使用したところには、必ず下線を施しなさい。(例：明の永楽帝は、鄭和を南海遠征に派遣した。)

太祖	開封（汴京）	禁軍	殿試	文治主義
王安石	新法	司馬光	徽宗	靖康の変

世 界 史

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(150点)

北アメリカのイギリス領植民地は、(1) 17世紀初頭の最初の入植以来、イギリス本国の(2) 保護貿易政策のもとで順調な発展を遂げ、18世紀半ばまでには、東海岸に沿って13の植民地が形成されるようになった。これに対してフランスは、(3) 北アメリカ内陸部と北部に植民地を形成したが、(4) 1763年にこれらの植民地をイギリスに割譲し、北アメリカから事実上撤収した。これを機にイギリス本国は、それまでの「有益な怠慢」とよばれた(A) 北アメリカ植民地政策を転換するとともに、フランスから割譲された地域を本国の直接管理のもとにおくことにした。この政策転換に反発した13植民地は、1774年、(5) フィラデルフィアで大陸会議を開催し、1776年に(6) 独立宣言を採択した。8年続いた独立戦争は1783年に終結し、4年後にはアメリカ合衆国憲法が採択された。

- 問1 (1) 下線部(1)で成立した最初のイギリス領植民地の名称を、解答欄(1)に記しなさい。
(2) 下線部(2)を具体化したイギリスの法律の名称を、解答欄(2)に記しなさい。
(3) 下線部(3)のうち、内陸部のミシシッピ川流域に形成されたフランス領植民地の名称を、解答欄(3)に記しなさい。
(4) 下線部(4)を決めた条約の名称を、解答欄(4)に記しなさい。
(5) 下線部(5)の都市があった植民地の名称を、解答欄(5)に記しなさい。
(6) 下線部(6)の独立宣言を起草し、後に第3代合衆国大統領となった政治家の名を、解答欄(6)に記しなさい。

- 問2 下線部(A)の転換について、そのような政策が採用された理由と、採用された政策の内容を、80字以内で説明しなさい。

問3 上の文章を受けて、建国後のアメリカ合衆国の体制と展開を、次の語句をすべて用いて400字以内で説明しなさい。なお、語句はどの順番で何度用いても構わないが、それぞれ最初に使用したところには、必ず下線を施しなさい。(例：ルイ14世はヴェルサイユ宮殿を建造させた。)

連邦主義	州権主義	三権分立	プランテーション
モンロー主義	ミズーリ協定	テキサス	カリフォルニア
ジャクソン	ハミルトン		

地 理

5 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(150点)

当初、手工業として始まった家内工業は、やがて工場労働者が分業によって生産をおこなう へと発展していった。さらに、工場生産に機械を導入した へと移行し、現在の工業につながる大資本による大量生産体制が確立した。こうした工業は、繊維製品などの消費財を生産する軽工業から鉄鋼業や機械工業などの重工業へと発展し、化学製品なども含む へと変化していった。さらに近年では、高度な最先端技術を用いた 産業の登場により、より付加価値の高い製品が生産されるようになった。

こうした工業の発展は、(A) 工場の立地 にも大きな影響を与えている。当初の燃料及び原料産地を指向する工業の立地から、原料の輸入に便利で市場に近接した大都市近郊の臨海部を指向する工業の立地へと次第に変化していった。特にこうした臨海部の工業地域には、原料や製品を有機的に結び付けた関連工場が集積しており、これらは と呼ばれている。また、知識集約型の産業が立地するアメリカの (B) シリコンバレー のように、最新の情報を求めて多くのハイテク企業やベンチャー企業が集積する最先端工業地域が現れるなど、工業の立地は時代とともに今も大きく変わり続けている。

近年は、工業のグローバル化が進み工業生産における国際分業が顕著となっている。とりわけ、 が企業内地域間分業をおこなう新しい国際分業の登場は、工業のグローバル化を一層押し進めた。こうした企業では、工場どうしの役割分担を効率化させるグローバルな最適化が図られる一方で、現地の慣習や消費者嗜好などを踏まえた現地化への取り組みがなされている。

問1 空欄 ～ に入るのに最もふさわしい語句を、解答欄 (1) ～ (6) にそれぞれ記しなさい。

問2 下線部 (B) に関して、シリコンバレーに産業が集積する要因について、その立地条件を踏まえて80字以内で説明しなさい。

問3 下線部（A）に関して、ドイツの経済学者ウェーバーの工業立地に対する考え方について、次の語句をすべて用いて400字以内で説明しなさい。なお、語句はどの順番で何度用いても構わないが、それぞれ最初に使用したところには、必ず下線を施しなさい。（例：ラプラタ川を中心にパンパが広がる。）

工業立地	原料指向	原料重量	市場指向
集積指向	製品重量	輸送費指向	労働力指向